

より良い砂防工事を目指して

26日朝、事務所のある揖斐川町は、一面銀世界となっていました。貴地ではいかがでしょうか。いつもクマタカ通信を何かとお心にかけて下さりましてありがとうございます。このホームページを通じて、みなさんに工事の状況や工事のこぼれ話について、見ていただければ幸いと思い連載しております。さて、越美山系砂防事務所の担当している砂防工事現場は、大雨や豪雪が多く、過去に土砂災害を受けているような危険箇所も多くあります。それぞれの工事現場では、担当する技術者が、知恵を絞って安全対策に努めると共に品質の向上や工事が早く完成するよう努力をしております。その中での取り組みや、特殊な技術を使ったものなどもありますので随時紹介させていただいております。これからも、皆様方とコミュニケーションをとりながら、よりよい砂防工事を目指し努力してまいりますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、当通信にご意見・ご希望がございましたらホームページTOP右上の「お問い合わせ」よりお寄せいただきますようお願い申し上げます。



揖斐川砂防出張所長 林

東前の谷で研修会開催！

東前(ひがしまえ)の谷では、既設えん堤に流木対策施設を設置する工事を実施中であるが、21日に設計コンサルタント、施工業者、揖斐川町藤橋振興事務所、越美山系砂防事務所職員合同の研修会を開催(写真A,B)。

実際の施工現場において設計時の考え方を再度確認し、その考え方を検証することで、今後の設計成果の品質の維持・向上を目指す。



既設堰堤を切断するためのワイヤーソー。使用後のワイヤーソー(上)を見ると、その劣化状況が一目瞭然だ。

大谷川は本年度工事完了！！

大谷(おおたに)川では、12月26日に本年度工事が完了した(写真①)。

この大谷川では、軽量土壁工法であるN-SPC工法を越美山系砂防事務所ですべて初めて採用。急峻な地形の掘削(写真②)、軽量盛土の強度の発現、付属工法の小口径杭工法の施工管理…。現場を担当した榎久保田工務店の監理技術者曰く、「勉強する日々」であった。

担当した技術者は、空を見上げ「大雪に対する準備をする」と言い残し、現場を後にする。



榎久保田工務店の中田監理技術者(左)と石原現場代理人(右)

初雪がもたらす災害!? そして…

西前(にしまえ)の谷では、初雪を観測した17日朝に林道脇の斜面が崩落。落ちてきた岩盤は直径1.6mほどある大きな岩(写真④)。工事現場では、いかなる場所でも注意が必要だ。大蔵(おぞう)谷でも、2回にわたり斜面の崩落が発生(写真⑤)。因果関係ははっきりしないが、初雪を観測した現場では斜面が不安定になっていることは間違いなさそうだ。

そして、26日朝には管内の多い現場で80cmを超える雪を観測。

エノマ谷では、60cmを超える積雪の対応に苦慮し(写真⑥)、越美山系砂防事務所では事務所前の道路の除雪を当事務所職員が行った(写真⑦)。年末年始の災害対応を意識し、当事務所職員は災害発生時の手順を改めて確認するなど、新しい年を迎える準備を進めている(写真⑧)。

